ごみ減量化モデル事業
実施しています

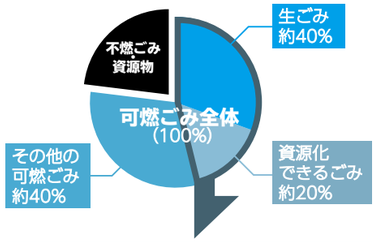
町では、家庭から出るごみの７割以上を占める「可燃ごみ」の減量を行うため、令和元年度から「ごみ減量化モデル事業」を始めました。今年度は春和４区と番匠台区の２地区計 30 世帯の方にご協力をいただいています。今回は、モデル事業に協力いただいている２地区の方にお話をうかがい、ご意見やご感想をいただきました。　問 建設環境課 環境担当 ☎ 65-0814

目的　ごみ減量化の効果を検証し、町全体での取組みへと発展させる

期間　令和２年３月１日～令和３年３月31日

対象　春和４区と番匠台区　各15世帯　計30世帯

対象となる可燃ごみ



モデル事業で削減に取組む対象となるごみ
（可燃ごみ全体のうち約60%）

主な活動内容

- 徹底したごみの分別
- 生ごみの自家処理
  ※可燃ごみの重量測定を週２回行っています。
- 雑がみ[?]の資源化
  ※雑がみの重量測定を月２回行っています。

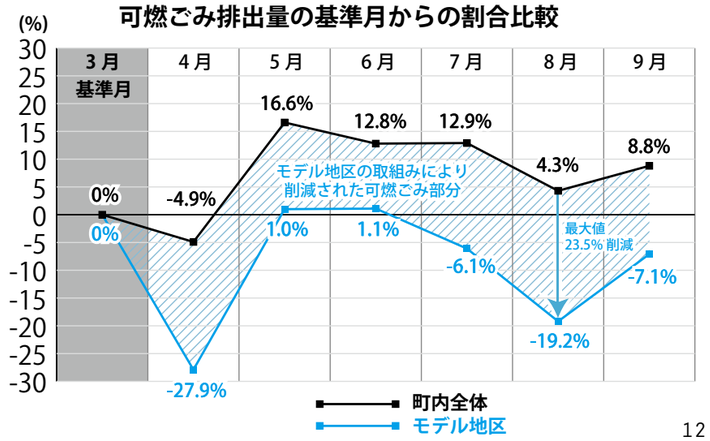
期待される効果

- 生ごみの自家処理及び雑がみの資源化による「可燃ごみ」の削減
- ごみの重量で決まる小川地区衛生組合へ支払う負担金の削減
- 資源物売却収入の増加

[?] 雑がみとは？　新聞、雑誌、段ボール以外の紙類。ティッシュの箱、お菓子の箱、紙袋包装紙、ハガキ、封筒、コピー用紙、トイレットペーパーの芯など。新聞などと同様に資源回収の日に出すことができ、売却収入にすることができます。

中間報告

可燃ごみの排出量を、町内全体とモデル地区それぞれにおいて、３月を基準月として、基準月と各月を比較し、どれだけの割合が増減したのかを右のグラフに示しました。町内全体とモデル地区を比較すると、**最大で 23.5% の削減、平均で約 18.1% の削減**ができたことがわかりました。意識して取り組むことで、可燃ごみは大きく減らすことができます！



ごみ減量化モデル事業
協力15世帯

春和４区

インタビュー

野澤敬三さん

町　ごみ減量化モデル事業に取り組んで、気付いたこと、工夫されていること、実感していることなどを教えてください。

野澤さん　雑がみを意識して可燃ごみから抜くことによって、随分と可燃ごみの量が減った気がします。同時に雑がみが今までこんなに入っていたんだと実感しました。また、生ごみだけではなく、せん定した枝や草なども、何日か干して水分を飛ばして軽くしてから排出するようにしています。

町　野澤さんは環境推進委員をされていましたが、その経験から地域全体のごみの減量のためにどのような方法が考えられますか？

野澤さん　集積所に出せるものを明記するなどして、意識付けをするといいのではないかと思います。意識を持ってごみ出しをすることで、自分がどういうものをどの程度、出しているかという自覚につながっていくのではないでしょうか。自分のこととしてとらえていくと変わっていくと思います。

自分の問題として意識する

町　モデル事業を、町全体の取組みに広げていく上で、ご意見があればお聞かせください。

野澤さん　自分に関わる問題として意識していくことが大切だと思います。私自身の経験からですが、実際に役目を通じて体験してみることは意識を変える意味でも大きいと思います。また、あまり支障のない部分に関しては締め付け過ぎずに、必要に応じてメリハリをつけるといいのではないでしょうか。窮屈に考えて続かないよりも、ゆるくとらえて継続できるというのもありだと思います。（了）

ごみ減量化モデル事業
協力15世帯

番匠台区

インタビュー

小峯清さん

町　ごみ減量化モデル事業に取り組んで、気付いたこと、工夫されていること、実感していることなどを教えてください。

小峯さん　毎月の計測結果の記録表は、自分が出している量を実感する意味で有効だと思います。自分が出しているものを意識することは大切だと思いますね。また、「雑がみ」については、以前に比べてかなり意識するようになりました。雑がみ入れの袋もいただきましたが、家にある紙袋を再利用して有効活用しています（写真）。生ごみは配布してもらったコンポスト容器を使って堆肥化しています。ごみ箱を見ても可燃ごみが減ったなと感じています。

小峯さんの雑がみ分別方法。雑がみを紙袋にまとめています。ぜひ参考にしてみてください。

集積所をきれいに保つ

町　可燃ごみが減ったと実感していただけるのはうれしいです。小峯さんは環境推進委員をされていましたが、その経験から地域全体のごみの減量のためにどのような方法が考えられますか？

小峯さん　集積所を常にきれいにしておくことが有効だと思います。きれいな状態が保たれることで、それを保とうという雰囲気になるのではないでしょうか。また、集積所に分別のルール等を掲示して掲示板的に使うのもいいと考えています。

町　モデル事業を、町全体の取組みに広げていく上で、ご意見があればお聞かせください。

小峯さん　ごみの減量化についての意識を変えてみるといいと思います。私も推進委員をする前は今ほど関心を持っていませんでした。今は家族間でお互いにチェックしています。自分のこととして意識すると良いのではないでしょうか。（了）